

台風がもたらす 石垣島の恵み

渡辺仁史



think the future from hitoshi watanabe lab.

●台風は地球環境の調整役

●昔は「台風銀座」と呼ばれ石垣島に住んでいると、毎年のように訪れる大きな台風と向き合わざるを得ません。台風が通過するたびに、農作物は壊滅的な被害を受け、赤土が流出して海や川が汚染されます。生活の面でも、スーパーの食料品が瞬間に売り切れ、長時間の停電で冷蔵庫の食材が使い物にならなくなることも珍しくありません。

●台風との共生

それでも、私はこの南の島に住み続けることを選んでいます。なぜなら、この島が与えてくれる恩恵は、台風の被害を上回る価値があるからです。

●自然界での役割

まず、台風がもたらす最大の恩恵の一つは、海洋の深層水がかき混ぜられることです。これにより、海水温の上昇が抑えられ、珊瑚の白化を防ぐ効果があります。石垣島の美しい珊瑚礁は、台風のおかげで保たれていると言っても過言ではありません。

また、台風は自然界の循環において重要な役割を果たしています。強風と大雨は、島の土壌をリフレッシュし、植物の成長

を促す肥沃な土地を作り出します。台風がなければ、私たちの生活環境もまた違ったものになっていたでしょう。

●コミュニティの結束

さらに、台風が来ることで、私たちのコミュニティは結束力を強めます。災害時には互いに助け合い、支え合うことで絆が深まります。台風の度に試されるこの絆は、日常生活では得られない貴重な財産です。

●台風から学ぶこと

台風は確かに多くの困難をもたらしますが、それ以上に私たちに大切なことを教えてくれる存在でもあります。自然の力を理解し、それに対して謙虚な気持ちを持つこと。そして、困難に直面したときにこそ、共に助け合い、前に進む力を持つことなど。

石垣島という美しい自然環境の中で、台風と共生しながら生きていく術を学び続けています。それが、この島での生活を豊かにしているのです。先日の台風第3号では、飛行機が石垣空港に着陸できるかも危ぶまれた中を帰島しましたが、丸一日の停電の中で、そんなことを考えていました。

News Paper

第21号

2024.08.01



白化した珊瑚